


技術		平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 東京書籍
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点		
特に「材料と加工に関する技術」「生物育成に関する技術」の製作例、実習例が充実しており、豊かな創造性を身に付けることができるよう配慮されている。各編の導入部分には学習の目標が明記されており学習の動機づけができる、また、編の最後は学習のまとめを活用し、自学・自習の習慣を身に付けさせることを通して、学力の向上を図ることができる。さらに、世界で貢献している技術や世界を変えてきた技術などの記述が充実しており、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力を育成することができる。その一方、大阪発祥の技術や産業についての記述の充実が求められるものの、宮大工をはじめとする日本の伝統技術や全国各地の産業についての記述は十分である。《⑤⑥⑦⑧》		
2. 教育基本法に基づく観点		
変化する社会情勢に即した最先端の技術を中心に、問題解決能力や技術を評価し活用する能力がはぐくまれるよう工夫されており、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができる内容となっている。《①》		
3. 学習指導要領に基づく観点		
ものづくりの歴史から最新技術までが工夫してとりあげられており、生徒の興味・関心を喚起することができる。また、ガイダンス機能が充実しており、PDCAサイクルに基づき、問題解決能力が育成できるよう配慮されている。記述方法について工夫が必要な部分もあるが、学習内容ごとに、小学校での既習事項や他の教科とのかかわりについて丁寧に記述されており、用語解説や補足説明なども充実している。実習例が豊富に示され、作業工程や工具の使用 방법이写真や資料を用いて丁寧に紹介されるとともに製作の際につまづきが予想される箇所を解説したり、修正方法を提示したりするなど、基礎的・基本的な技術を習得するうえで、わかりやすい構成となっている。さらに実習例に難易度が示され、生徒自らの技能の習熟度合いに応じて実習内容を選択できるよう工夫されている。《①②⑥》		
4. 外的要素に関する観点		
教科書のサイズが、従来のものに比べて大きく(256mm×210mm)なっており、持ち運びの利便性や収納面で課題があるものの、斬新である。写真や図、イラスト等をバランスよく配置するとともに、色使いにも配慮し、視覚的にもわかりやすい。《①②③》		
5. 構成・配列に関する観点		
生徒の心身の発達段階や生活経験などに配慮して、基礎的な内容から応用的な内容へ無理なく配列されている。特に目次やガイダンスの内容が、生徒の学習意欲の喚起に役立つ。実践的・体験的な学習を重視するとともに、問題解決的な学習の充実が図れるよう工夫されている。特に生活上の体験を、技能として身に付けるための手順が詳しく示されている。学習指導要領の内容のA(材料と加工に関する技術)、B(エネルギー変換に関する技術)、C(生物育成に関する技術)、D(情報に関する技術)が、バランスよく適切に配分されている。《①②③》		
6. 資料その他に関する観点		
図表、さし絵、口絵、写真、記号などが新しく、正確、的確である。特に巻末に掲載されている防災手帳は授業に役立つ。実習例は豊富で、効果的に取り上げられている。また、その内容が写真やイラストを用いて詳しく解説されており、生活をより良くしようとする能力の育成に役立つ。安全・衛生及び事故防止に留意して実習が進められるよう配慮されている。特に巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう!」は安全への意識を高めるのに役立つ。《①②③》		

技術	[REDACTED]	平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 教育図書
<p>1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>序章にはすべての分野の学習目標が記されており、学習の動機づけができる。また、まとめ・章末問題を活用することで既習事項の定着が図れ、学力の向上を見込むことができる。また、エネルギー消費量や食料自給率など日本と外国の関わりについて学べるよう工夫されており、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。その一方、大阪発祥の技術や産業についての記述の充実に工夫を要するものの、日本の伝統技術や全国各地の産業についての記述は十分である。《⑥⑦⑧》</p>		
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>自然と共存しながら生きる「持続可能な社会」をつくるために必要な技術を評価し、活用できる能力を身に付けさせることを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を育成することができる内容となっている。《④》</p>		
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>実習に対する心構えや環境整備について配慮された内容になっている。実習例を示しながら、写真やイラスト等を用いて、工具や機器の説明をしたり、実技指導を示したりするなど身に付けるべき技能についてもわかりやすくまとめられており、生徒が見通しをもって協力しあいながら基礎的・基本的な技術の習得をめざすことができるよう工夫されている。発想や工夫をこらしてつくられた製品をとりあげ、創造することの喜びや楽しさを伝えることを通して、問題解決的な学習に取り組む意欲を喚起するよう工夫されている。設計の分野、とりわけ「製図」については、その取り上げ方に工夫を要するものの、相互に関連しながら学習に取り組めるよう意図されている。《①②③》</p>		
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>実習の作業工程等が大きな写真で示されるとともに、文章量は少ないが、図やイラストのレイアウトにも工夫がみられ、色合いも落ち着いた。《①②》</p>		
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>生徒の心身の発達段階や生活経験などに配慮して、基礎的な内容から応用的な内容へ無理なく配列されている。特に自学・自習の際に役立つ。実践的・体験的な学習を重視するとともに、問題解決的な学習の充実が図れるよう工夫されている。その一方で、情報モラルに関する記述の充実が望まれる。学習指導要領の内容のA(材料と加工に関する技術)、B(エネルギー変換に関する技術)、C(生物育成に関する技術)、D(情報に関する技術)が、バランスよく適切に配分されている。特に各編の締めくくりとして「学習のまとめ」が掲載されており、知識や技能の習得に役立つ。《①②③》</p>		
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>図表、さし絵、口絵、写真、記号などが新しく、正確、的確である。特に写真やイラストは大きくて、視覚的にとらえやすい。実習例は豊富で、効果的に取り上げられている。特に全ての製作工程がわかりやすく書かれており、実社会に出てから活用できるものが取り上げられている。安全・衛生及び事故防止に留意して実習が進められるよう配慮されている。特に作業工程が図やイラスト等を用いて詳しく解説されており、安全確認や危険回避の心構えが習得できる。《①②③》</p>		

技術	■■■■	平成28年度使用教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 集約結果 開隆堂出版
<p>1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各項目ごとに学習目標や自己評価の欄が設けられており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されており、学力の向上について配慮されている。また、各ページ下に豆知識が記載されており、豊かな創造性を育む一助となる。大阪発祥の技術や産業についての記述の充実が求められるものの、技術を利用し、生活の向上や国際社会に貢献する態度の育成に配慮されており、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力を身に付けることができる。《⑤⑥⑦⑧》</p>		
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>ガイダンスが充実しており、日本の伝統的な技術を知り、先人の知恵や技能が我が国の技術の発達を支えてきたことを知ることを通して、我が国の郷土の伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を涵養できる内容となっている。《⑤》</p>		
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>ガイダンス機能が充実し、持続可能な社会を実現する観点から技術と環境のかかわりについて取り上げており、教科書全体を通して理解を深めることができるよう工夫されている。バリアフリーデザインやアクセシビリティなど、製品を使用する者の立場に立って設計・製作することや、環境を保全する技術、自然と共生する技術などが示されるなど、技術に関わる倫理観の育成に配慮されている。また、章末の学習のまとめや探究の項目など、既習事項をふりかえるとともに、技術が社会や日常生活にどのように関わっているかについて、主体的に考えることができるよう編集されている。実習の作業工程や、工具・機器の使用方法について写真等を用いて紹介されている。《①②③》</p>		
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>色の使い方に工夫が見られ、印刷が鮮明である。詳細な説明がなされているため、文字量が多いものの、充実した写真やイラスト、図表、コラムなどが、生徒の学習意欲を喚起する。《①②》</p>		
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>生徒の心身の発達段階や生活経験などに配慮して、基礎的な内容から応用的な内容へ無理なく配列されている。特に身近な生活の中に技術を見出す可能性を認識させることができる。実践的・体験的な学習を重視するとともに、問題解決的な学習の充実が図れるよう工夫されている。各分野とも導入、基礎学習、展開、まとめ、評価の順で構成され、系統的に学習できる。学習指導要領の内容のA(材料と加工に関する技術)、B(エネルギー変換に関する技術)、C(生物育成に関する技術)、D(情報に関する技術)が、バランスよく適切に配分されている。《①②③》</p>		
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>図表、さし絵、口絵、写真、記号などが新しく、正確、的確である。特に機械や道具の扱い方等について写真やイラストを用いて詳細に記されている。実習例は豊富で、効果的に取り上げられている。特に基本となる実習から発展的な実習まで多様な例が取り扱われている。安全・衛生及び事故防止に留意して実習が進められるよう配慮されている。特に実習内容にそって、安全面の留意事項がまとめられている。《①②③》</p>		

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会